

特定非営利活動法人日本栄養改善学会 関東・甲信越支部会
第19期 令和3年度 第1回 幹事会 議事要旨

日時:2021年10月31日(日) 14:30~16:15

ハイブリット開催:ビジョンルーム東京八重洲中央口

Zoom オンラインミーティング

出席幹事 木村典代(支部長)、荒井裕介(副支部長、事務局)、荒田玲子、堀端薫、赤松利恵、小澤啓子、黒谷佳代、鈴木志保子、斎藤トシ子、古閑美奈子、稲山貴代

出席監事 笠岡(坪山)宜代

欠席(幹事)提ちはる、(監事)田中弘之

<議事要旨>

1. 第18期(令和2年度)事業報告について

(1)第7回学術総会について、(2)市民公開講座について、(3)実践栄養学研究セミナー(オンラインセミナー)について

担当幹事より学術総会、市民公開講座、セミナーについて、実施経過、参加状況、参加者アンケート結果の報告があった。各事業ともオンデマンド開催は他支部等の多くの参加者があり好評であったと報告があった。

市民公開講座担当幹事より、参加者との交流を行うため期間最終日はライブ配信として、参加者からの質問に答える場を設けることも方法であると提案があった。

2. 第19期(令和3年度)事業計画について

(1)第8回学術総会について、(2)市民公開講座について

担当幹事より実施要項とポスターの提示があり、実施内容の説明があった。実施方法はオンデマンド開催とし、HP作成、配信業務は業者委託することの説明があった。実施要項は栄養学雑誌79-4(21年12月発行)に掲載する。一般演題発表の応募の呼びかけがあった。

市民公開講座は、当初シンポジウム部分をあて、対面開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症再拡大時に施設を使用できない可能性があるため、オンデマンドに切り替えて実施することにした。市民公開講座としての、シンポジウム部分のオンデマンド配信は学術総会后、2022年4月から5月ごろを予定していると説明があった。

(3)実践栄養学研究セミナー(オンラインセミナー)について

担当幹事より実施経過の報告があった。参加者には成果物を第8回支部会学術総会の一般演題での発表を呼びかける予定であると説明があった。

3. 第19期(令和3年度)予算について

副支部長より資料に基づき説明があり、了承された。

4. 次期支部会役員について

役員を選出方法について意見交換を行った。

諸事情により、次期幹事の交代を希望する方は、支部長に一報し、相談することになった。

また支部長より、2025年開催の第72回学術総会は本支部会が担当となり、学術総会会長は2023年の総会で推戴となるため、次期の幹事が当初準備を担当することになると説明があった。

5. 第 20 期(令和 4 年度)事業計画について

(1)第 9 回学術総会(23 年春)について、(2)市民公開講座について

第 9 回学術総会(市民公開講座同時開催)開催地として、これまでの事業実施状況を鑑み、支部長より埼玉県が提案された。埼玉県の幹事が持ち帰り、検討することになった。

(3)実践栄養学研究セミナーについて

隔年で開催しているため、第 20 期は開催しないことでした承された。

6. 第 72 回(令和 7 年度)からの学術総会の持ち回り順について

支部長より理事会決定内容について資料に基づき説明があった。本支部会は 2025 年からの 11 年間で 3 回(2025 年第 72 回、2029 年第 76 回、2033 年第 80 回)担当することの説明があった。

7. 支部長会議報告等

支部長より、支部会員が 2 年で 440 人減少していること、学会でワーキングチームを立ち上げて会員減対策を検討することの報告があった。会員確保に向けて支部会としても取り組みの検討や、意見聴取があった場合は協力してほしいと、説明があった。

8. その他

- 支部会 Zoom アカウント、Vimeo アカウント

支部会事業で使用したい場合は事務局に連絡をする。

- 支部会ホームページ

支部長より、次期以降、ホームページ更新を幹事会メンバー内で担当を決めて引き継ぐことなり、具体的には今後検討することの連絡があった。

現在は事業等の開催にあわせて支部長が更新を行っており、更新画面は視覚的にわかりやすくワープロ感覚で作業を行えるものと説明があった。

- 次回幹事会の予定(22 年 1 月中旬から下旬)

次回幹事会は、今回同様にハイブリット開催することが提案され、了承された。今後日程調整を行うことになった。